

相馬市子ども・子育て支援アンケート調査
結果報告書（概要版）
【就学前児童用】

令和4年3月
相馬市

目 次

I 調査結果の概要.....	1
A. お子さんご家族の状況について.....	1
B. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	1
C. 保護者の方の就労状況について.....	6
D. 日常的な幼稚園・保育施設等の利用について.....	9
E. 土曜・休日・長期休業中の定期的な幼稚園・保育施設等の利用について.....	10
F. お子さんの病気やケガの際の対応について.....	11
G. 幼稚園・保育施設等の不定期の利用等について.....	12
H. 地域における子育て支援について.....	13
I. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	14
J. 保護者の方の育児休業の取得状況について.....	15
K. 子育て全般について.....	19

I 調査結果の概要

A. お子さんのご家族の状況について

回答者の居住区については、「中村地区」が42.4%、「東部地区」が20.6%、「大野地区」が13.9%などとなっている。(P 2)

アンケートの回答者は「お子さんの母親」が83.6%と8割を占め、「お子さんの父親」が16.0%であった。同居の家族は「母親」(97.7%)、「父親」(90.0%)、「祖母」(24.8%)、「祖父」(20.6%)の順となっており、主に子育てを行っている方は「父親・母親ともに」が55.6%と半数を占め、次に「主に母親」が40.5%と4割を占めている。(P 4～5)

B. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) お子さんを見てもらえる親族・知人 (P 6)

子どもを見てもらえる親族・知人について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は35.0%、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は就学前児童が56.7%となった。

一方、「日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる」は1.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は10.4%となった。

(2) お子さんを見てもらう状況 (P 6～7)

お子さんを見てもらう状況は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	親族 (%)	友人・知人 (%)
1	身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	53.9	11.8
2	身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	16.7	1.4
3	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	22.2	3.9
4	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	7.9	0.7
5	その他	0.5	0.5
6	みてもらえる人はいない	1.6	43.8
	無回答	1.2	0.7
	N (%ベース)	100	100

(3) 子育てに関する相談先 (P 7)

お子さんの子育てに関する相談先は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)
1	祖父母等の親族	76.2
2	友人・知人	63.9
3	近所の人	5.8
4	子育て支援施設 (放課後児童クラブ、児童センター、NPO)	4.6
5	保健センター (保健師)	7.2
6	保育園 (保育士)	22.5
7	幼稚園 (幼稚園教諭)	16.2
8	民生委員・児童委員	0.5
9	かかりつけの医師	12.5
10	自治体の子育て関連担当窓口	0.0
11	その他	1.2
12	いない/ない	4.9
	無回答	0.5
	N (%ベース)	100

(4) 子育てへの自信 (P 8)

子育てに自信がもてないことがあるかについて、「ある」が54.6%、「ない」が43.8となった。

(5) 昨年1年間の世帯全体の収入 (P 9)

昨年1年間の世帯全体の収入については、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)
1	収入はない (0円)	0.0
2	1～50万円未満	0.9
3	50～100万円未満	0.7
4	100～200万円未満	4.6
5	200～300万円未満	8.1
6	300～400万円未満	16.4
7	400～500万円未満	15.5
8	500～600万円未満	17.8
9	600～700万円未満	9.0
10	700～800万円未満	9.0
11	800～900万円未満	4.9
12	900～1000万円未満	2.5
13	1000万円以上	3.5
14	わからない	6.7
	無回答	0.2
	N (%ベース)	100

(6) お金が足りなくて買えないこと・払えないこと (P 9～11)

お子さんの世帯でお金が足りなくて買えないこと・払えないことについては、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	家族が必要とする食料 (%)	家族が必要とする衣料 (%)	子どもが必要する文具や教材 (%)	電気、ガス、水道料金の未払い (%)	電話料金の未払い (%)	家賃やローンの滞納 (%)
1	よくあった	2.3	3.0	1.6	1.9	1.4	1.2
2	ときどきあった	4.4	5.1	3.5	3.0	2.8	3.0
3	まれにあった	5.6	11.3	3.9	4.4	3.0	5.1
4	まったくなかった	86.3	79.4	89.4	89.6	91.7	89.6
	無回答	1.4	1.2	1.6	1.2	1.2	1.2
	N (%ベース)	100	100	100	100	100	100

(7) 家庭でお子さんに行っていること (P 12～14)

お子さんの家庭で行っていることについては、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	毎月お小遣いを渡す (%)	毎年新しい洋服・靴を買う (%)	習い事に通わせる (%)	学習塾に通わせる (%)	お誕生日のお祝いをする (%)	1年に1回くらい家族旅行に行く (%)	クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる (%)
1	している	3.5	84.5	32.2	7.6	96.8	53.0	88.9
2	していない(方針でない・年齢的に必要ない)	90.3	9.7	56.5	80.8	2.5	24.8	7.6
3	していない(経済的にできない)	5.6	5.1	10.9	10.6	0.5	21.5	3.2
	無回答	0.7	0.7	0.5	0.9	0.2	0.7	0.2
	N (%ベース)	100	100	100	100	100	100	100

(8) お子さんの世帯にないもの (P 14)

経済的理由のためお子さんの世帯にないものについては、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)
1	子どもの年齢に合った本	3.2
2	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	6.5
3	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	1.9
4	洗濯機	0.2
5	炊飯器	0.2
6	掃除機	0.2
7	暖房機器	0.2
8	冷房機器	0.7
9	該当なし	90.7
	無回答	0.0
	N (%ベース)	100

(9) 現在の暮らしの状況 (P 15)

お子さんの世帯の暮らしの状況については、「ゆとりがある」が6.0%、「ややゆとりがある」が7.9%、「ふつう」が52.8%、「やや苦しい」が26.9%、「苦しい」が6.5%となった。

(10) 両親の最終学歴 (P 15～16)

お子さんの両親の最終学歴については、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	中学校卒業	1.2	4.2
2	高等学校中退	3.0	2.8
3	高等学校卒業	38.2	36.6
4	高専、短大、専門学校等中退	1.4	0.2
5	高専、短大、専門学校等卒業	35.0	20.1
6	大学中退	0.2	1.6
7	大学卒業	18.5	20.4
8	大学院中退	0.0	0.5
9	大学院卒業	1.6	5.3
10	母親 (父親) はいない	0.2	6.5
11	その他	0.2	0.0
	無回答	0.5	1.9
	N (%ベース)	100	100

(11) お子さんの教育 (P 16～17)

今後どの段階までの教育を受けさせたいかについては、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	高校まで (%)	短大・高専・専門学校まで (%)	大学また大学院まで (%)
1	受けさせたい	90.5	74.3	74.1
2	受けさせる必要はない	0.0	6.5	6.7
3	受けさせたいが経済的に受けさせられない	0.2	8.8	16.7
	無回答	9.3	10.4	2.5
	N (%ベース)	100	100	100

(12) 住まいの状況 (P 18)

お子さんの世帯の現在のお住まいについては、「持家 (一戸建て・マンション)」が 67.4%と最も多く、次いで「賃貸」が 20.1%となった。

C. 保護者の方の就労状況について

(1) 母親・父親の就労状況 (P 19)

お子さんの母親・父親の就労状況は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	フルタイム (週 5 日程度・1 日 8 時間程度) で就労しており、育休・介護休業中ではない	43.1	88.7
2	フルタイム (週 5 日程度・1 日 8 時間程度) で就労していたが、育休・介護休業中である	9.7	0.5
3	パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労しており、育休・介護休業中ではない	21.3	0.2
4	パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労していたが、育休・介護休業中である	2.5	0.0
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	20.8	0.7
6	今まで就労したことがない	0.2	0.0
	無回答	2.3	10.0
	N (%ベース)	100	100

(2) 母親・父親の就労している方の就労時間等 (P 20~23)

お子さんの母親・父親の就労時間等の平均値をまとめた結果は、下表のとおりである。

カテゴリ	母親 (平均)	父親 (平均)
1 週間当たりの労働日数	4.9 日	5.3 日
1 日当たりの就労時間	7.4 時間	9.3 時間
家を出る時間	7.8 時	7.1 時
帰宅時間	17.3 時	18.5 時

(3) 母親・父親の現在の就労状況別、今後の就労希望 (P 24～27)

現在の就労状況別に、今後の就労意向は、下表のとおりである。

現在フルタイム

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	フルタイムの就労を続けたい	85.1	97.1
2	パート・アルバイト等への転換を希望しており、実現の見込みがある	1.3	0.0
3	パート・アルバイト等への転換を希望しているが、実現は難しいと考えている	9.2	0.3
4	就労をやめ、子育てや家事などに専念したい	4.4	0.5
	無回答	0.0	2.1
	N (%ベース)	100	100

現在パート・アルバイト

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	パート・アルバイト等の就労を続けたい	60.2	0.0
2	フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある	7.8	100.0
3	フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている	28.2	0.0
4	就労をやめ、子育てや家事などに専念したい	3.9	0.0
	無回答	0.0	0.0
	N (%ベース)	100	100

現在無職

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	33.0	100.0
2	1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい	47.3	0.0
3	子育てや家事などに専念したい (就労を希望していない)	17.6	0.0
	無回答	2.2	0.0
	N (%ベース)	100	100

(4) 母親・父親の現在の就労していない理由 (P 30)

現在の就労していない理由は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	定期的に子どもを預けられる保育事業が利用できない、または利用しにくいから	19.2	0.0
2	働きながら子育てできる適当な仕事がないから	34.2	0.0
3	自分の知識、能力にあう仕事がないから	2.7	66.7
4	家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていないから	9.6	0.0
5	その他	30.1	33.3
	無回答	4.1	0.0
	N (%ベース)	100	100

D. 日常的な幼稚園・保育施設等の利用について

(1) 幼稚園・保育所などの施設等の利用の有無 (P 31)

回答者の中で幼稚園・保育所などの施設等を「利用している」と答えた人は 72.0%、「利用していない」は 27.3%となっている。主に利用している施設等は「幼稚園」が 35.2%と最も多く、次に「認可保育所」が 28.5%となっている。

(2) 幼稚園・保育所などの施設等の利用状況と利用希望 (P 32～33)

幼稚園・保育所などの施設等の利用状況等の平均値をまとめたところ、下表のとおりである。

カテゴリ	利用状況 (平均)	利用希望 (平均)
1週間当たりの利用日数	5.0日	5.0日
1日当たりの利用時間	8.2時間	8.9時間
利用開始時間	8.1時	8.0時
利用終了時間	16.3時	16.9時

(参考) 現在の就労状況と施設等の利用状況比較

カテゴリ	母親 (平均)	父親 (平均)	利用状況 (平均)	利用希望 (平均)
1週間当たりの労働(利用)日数	4.9日	5.3日	5.0日	5.0日
1日当たりの就労(利用)時間	7.4時間	9.3時間	8.2時間	8.9時間
家を出る(利用開始)時間	7.8時	7.1時	8.1時	8.0時
帰宅(利用終了)時間	17.3時	18.5時	16.3時	16.9時

(3) 幼稚園・保育所などの施設等の利用希望

主に利用させたい施設等は「幼稚園」が 63.7%と最も多く、次に「認可保育所」が 44.2%となっている。

E. 土曜・休日・長期休業中の定期的な幼稚園・保育施設等の利用について

(1) 土曜日・日曜・祝日・長期休業期間中の幼稚園・保育施設等の利用希望 (P 38～42)

日常的に幼稚園・保育施設等を利用している方に、土曜日・日曜・祝日・長期休業期間中の幼稚園・保育施設等の利用希望状況をたずねたところ、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	土曜日 (%)	日曜・祝日 (%)
1	利用を希望しない	59.7	72.0
2	ほぼ毎週利用したい	9.3	4.4
3	月に2～3日程度利用したい	28.7	19.0
	無回答	2.3	4.6
	N (%ベース)	100	100

No.	カテゴリ	長期休業期間中 (%)
1	利用を希望しない	29.2
2	長期休業期間中、ほぼ毎日利用したい	46.4
3	長期休業期間中、週に数日利用したい	23.2
	無回答	1.2
	N (%ベース)	100

(2) 土曜日・日曜・祝日・長期休業期間中の幼稚園・保育施設等の利用希望時間 (P 38～42)

土曜日・日曜・祝日・長期休業期間中の幼稚園・保育施設等の利用希望時間の平均は、下表のとおりである。

カテゴリ	土曜日 (%)	日曜・祝日 (%)	長期休業期間中 (%)
希望する開始時刻	8.0時	8.0時	7.9時
希望する終了時刻	16.5時	16.8時	16.7時

(参考2) 現在の就労状況と施設等の利用状況比較 (土曜日・日曜・祝日・長期休業期間中含む)

カテゴリ	母親 (平均)	父親 (平均)	利用状況 平日 (平均)	利用希望 平日 (平均)	利用希望 土曜日 (平均)	利用希望 日曜・祝日 (平均)	利用希望 長期休業 期間中 (平均)
1週間当たりの労働 (利用) 日数	4.9日	5.3日	5.0日	5.0日	-	-	-
1日当たりの就労 (利用) 時間	7.4時間	9.3時間	8.2時間	8.9時間	-	-	-
家を出る (利用開始) 時間	7.8時	7.1時	8.1時	8.0時	8.0時	8.0時	7.9時
帰宅 (利用終了) 時間	17.3時	18.5時	16.3時	16.9時	16.5時	16.8時	16.7時

F. お子さんの病気やケガの際の対応について

(1) ここ1年間の病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった経験 (P 4 3)

日常的に幼稚園・保育施設等を利用している方に、ここ1年間の病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった経験をたずねたところ、「あった」が52.4%、「なかった」が45.7%であった。

(2) ここ1年間の病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の対応 (P 4 3～4 5)

ここ1年間の病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の対応の状況をまとめると、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)	日数 (平均)
1	就労していない保護者がみた	17.2	10.0
2	病児・病後児保育を利用した	0.0	-
3	父親が仕事を休んだ	32.5	5.4
4	母親が仕事を休んだ	80.4	7.7
5	親族・知人 (同居者を含む) に預けた	30.1	7.9
6	ベビーシッターを利用した	0.0	-
7	ファミリー・サポート・センター (もりっこサポート) を利用した	0.0	-
8	その他	3.1	4.3
	無回答	3.7	-
	N (%ベース)	100	-

(3) 病児・病後児を預けることができる保育施設の利用意向 (P 4 5)

病児・病後児を預けることができる保育施設の利用意向をたずねたところ、「できれば預けたかった」が40.6%、「預けたいと思わなかった」が59.4%であった。

G. 幼稚園・保育施設等の不規則の利用等について

(1) 不規則に利用している施設・サービス (P 46～47)

ここ1年間の不規則に利用している施設・サービスの状況をまとめると、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)	日数 (平均)
1	幼稚園の「預かり保育」	8.1	75.1
2	「一時預かり」(愛育園)	5.6	20.4
3	ファミリー・サポート・センター (もりっこサポート)	0.0	-
4	ベビーシッター	0.0	-
5	その他	0.2	2.0
6	利用していない	80.1	-
	無回答	6.7	-
	N (%ベース)	100	-

(2) 一時預かり事業の利用希望 (P 48～50)

現在、利用している・利用していないにかかわらず、お子さんについて、私用や親の通院、就労(残業、休日出勤など)のため、不規則の一時預かり事業を年間で何日くらい利用する必要があるかたずねたところ、「利用したい」が59.7%、「利用する必要はない」が36.6%となった。

また、具体的な利用したい状況をまとめると、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)	日数 (平均)
1	私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ	65.5	9.9
2	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院	67.8	6.9
3	不規則の就労(残業、休日出勤等も含む)	55.0	13.8
4	その他	4.3	14.8
	無回答	0.0	-
	N (%ベース)	100	-

(3) 泊りがけで誰かに預けなければならなかったことや、預け先が見つからなかったときの対応 (P 51～52)

泊りがけで誰かに預けなければならなかったことや、預け先が見つからなかったことは「あった」が11.1%、「なかった」が87.3%となっている。

預け先が見つからなかった場合の対応をまとめると、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)	日数 (平均)
1	(同居者を含む) 親族・知人に預けた	64.6	5.6
2	預け先が見つからず、やむをえず子どもを連れて行った	37.5	2.9
3	預け先が見つからず、やむをえず子どもだけで留守番させた	0.0	-
4	その他	4.2	2.0
	無回答	0.0	-
	N (%ベース)	100	-

H. 地域における子育て支援について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況（P 5 3）

「地域子育て支援拠点事業」の利用状況は「利用している」が 8.6%、「利用していない」が 90.5% となっており、利用している人の月当たりの平均利用日数は 4.2 日であった。

(2) 今後の「地域子育て支援拠点事業」の利用意向（P 5 4）

現在「地域子育て支援拠点事業」利用している人に、今後の利用意向をたずねたところ、「現在よりも多く利用したい」が 24.3%、「現在と同じくらい利用したい」が 73.0%、「現在よりも少ない利用で良い」が 0.0%、「今後利用するつもりはない」が 2.7%であった。

(3) 相馬愛育園以外の「地域子育て支援拠点事業などの支援先」の利用意向（P 5 4）

現在「地域子育て支援拠点事業」利用している人に、相馬愛育園以外の地域子育て支援拠点事業などの支援先があれば利用したいかたずねたところ、「利用したい」が 73.0%、「利用するつもりはない」が 27.0%であった。

(4) 相馬愛育園以外の「地域子育て支援拠点事業などの支援先」を利用したいと選んだ理由（P 5 5）

現在「地域子育て支援拠点事業」利用している人に、相馬愛育園以外の地域子育て支援拠点事業などの支援先を利用したいと選んだ理由をたずねたところ、「地域子育て支援拠点施設が複数ある方が利用しやすいため」が 92.6%、「気軽に相談できる支援先や相談先を求めているため」が 33.3%、「その他」が 3.7%であった。

(5) 現在利用していない方の今後の「地域子育て支援拠点事業」利用意向（P 5 5）

現在「地域子育て支援拠点事業」利用していない人に、今後の利用意向をたずねたところ、「今後は利用したい」が 14.1%、「今後も利用するつもりはない」が 30.3%、「わからない」が 44.4%であった。

I. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校へ入学した際の希望する放課後過ごす場所 (P 56～60)

小学校へ入学した際の希望する放課後過ごさせたい場所、過ごさせたい日数の平均は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)	低学年時 (平均)	高学年時 (平均)
1	自宅	38.9	4.1日	3.8日
2	祖父母・親戚宅、友人・知人宅	17.6	3.3日	2.6日
3	習い事 (ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	18.5	1.4日	2.0日
4	放課後子ども教室	12.0	2.4日	1.8日
5	放課後児童クラブ	54.6	4.8日	4.1日
6	ファミリー・サポート・センター (もりっこサポート) を利用	0.0	-	-
7	その他 (校庭、図書館、公園など)	3.7	3.0日	2.5日
	無回答	7.4	-	-
	N (%ベース)	100	-	-

J. 保護者の方の育児休業の取得状況について

(1) 母親・父親の育児休業取得状況 (P 6 1)

母親・父親の育児休業の取得状況は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	取得した (取得中である)	51.9	9.3
2	取得していない	17.8	72.9
3	もともと就労していなかった	22.7	1.4
	無回答	7.6	16.4
	N (%ベース)	100	100

(2) 母親・父親の育児休業を取得しない理由 (P 6 2～6 3)

育児休業を取得していない方に、その理由をたずねた結果は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	職場に育児休業を取得しにくい雰囲気があった	19.5	33.0
2	仕事が忙しかった	13.0	34.6
3	(産休後に) 職場に早く復帰したかった	7.8	0.3
4	職場に復帰するのが難しくなりそうだった	5.2	4.4
5	昇給・昇格などが遅れそうだった	0.0	5.1
6	収入が減り、経済的に苦しくなる	18.2	29.2
7	保育所などに預けることができた	3.9	2.5
8	配偶者が育児休業を取得した	0.0	33.3
9	配偶者が就労していない、親族にみてもらえるなど、育児休業を取得する必要がなかった	7.8	18.4
10	子育てや家事に専念するため退職した	27.3	0.6
11	育児休業制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	24.7	9.5
12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	9.1	1.0
13	育児休業を取得できることを知らなかった	1.3	3.2
14	産前産後の休暇を取得できることを知らず退職した	5.2	0.0
15	その他	11.7	4.1
	無回答	1.3	12.4
	N (%ベース)	100	100

(3) 母親・父親の育児休業取得後の職場復帰状況 (P 6 4)

育児休業を取得した方に、育児休業取得後の職場復帰状況をたずねた結果は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	取得後、職場復帰した	75.0	90.0
2	取得中であり、職場復帰する予定	18.8	10.0
3	育児休業中に離職した	5.8	0.0
	無回答	0.4	0.0
	N (%ベース)	100	100

(4) 母親・父親の職場復帰時期 (P 6 5 ~ 6 9)

育児休業を取得した方に、育児休業取得後の職場復帰をたずねた結果は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	年度初めの入所の時期に合わせた	38.6	12.5
2	特に合わせていない	60.0	85.0
	無回答	1.4	2.5
	N (%ベース)	100	100

職場復帰時の子どもの年齢、希望する子供の年齢は、下表のとおりである。

カテゴリ	母親 (平均)	父親 (平均)
職場復帰時期	0歳11ヶ月	0歳7ヶ月
希望する職場復帰時期	1歳5ヶ月	0歳10ヶ月

(5) 母親・父親の実際と希望の復帰時期の差異 (P 6 7、6 9)

母親・父親の実際と希望の復帰時期の差異は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	希望時期より早くなった	58.6	42.5
2	希望通りだった	23.3	37.5
3	希望より遅くなった	13.8	10.0
	無回答	4.3	10.0
	N (%ベース)	100	100

(6) 母親・父親の希望より早く職場復帰した理由 (P 70)

希望時期より早く職場復帰した方の、希望より早く職場復帰した理由は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	希望する保育所等への入所のため	43.9	23.5
2	配偶者や家族の希望	8.9	0.0
3	経済的な理由	43.9	52.9
4	人事異動の時期や仕事の節目だった	15.4	17.6
5	その他	19.5	29.4
	無回答	0.0	0.0
	N (%ベース)	100	100

(7) 母親・父親の希望より遅く職場復帰した理由 (P 71)

希望時期より遅く職場復帰した方の、希望より遅く職場復帰した理由は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	希望する保育所等に入れなかった	69.0	25.0
2	自分や子どもなどの体調不良	3.4	0.0
3	配偶者や家族の希望	6.9	25.0
4	職場の受入れ態勢の問題	3.4	25.0
5	子どもをみてくれる人がいなかった	13.8	25.0
6	その他	0.0	25.0
	無回答	10.3	0.0
	N (%ベース)	100	100

(8) 母親・父親の仮に1歳まで必ず預けられる保育所がある場合の育児休業取得 (P 72)

育児休業を取得した方に、仮に1歳まで必ず預けられる保育所がある場合の育児休業取得についてたずねた結果は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (%)	父親 (%)
1	1歳になるまで育児休業を取得した	71.4	40.0
2	1歳になる前に職場復帰した	26.2	57.5
	無回答	2.4	2.5
	N (%ベース)	100	100

(9) 母親・父親の仮に3歳まで育児休業が取得している場合の取得したい期間 (P 7 3)

育児休業を取得した方に、仮に3歳まで育児休業が取得している場合の取得したい期間についてたずねた結果は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	母親 (平均)	父親 (平均)
1	仮に3歳まで育児休業が取得できる場合の取得したい期間	1歳1ヶ月	0歳6ヶ月

K. 子育て全般について

(1) 子育ての環境や支援への満足度 (P 7 4)

相馬市における子育ての環境や支援への満足度についてたずねた結果は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)
1	低い	17.1
2	やや低い	23.6
3	普通	44.7
4	やや高い	9.3
5	高い	2.1
	無回答	3.2
	N (%ベース)	100

(2) 受けたい情報提供や相談・支援 (P 7 4)

どのような情報提供や相談・支援を受けたいかについてたずねた結果は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	全体 (%)
1	幼稚園・保育施設等への入園・入所等 (教育・保育の内容、手続き、空き情報など)	70.6
2	地域の子育て支援に関するさまざまなサービスの内容	64.8
3	子育ての方法 (コミュニケーション、食事、しつけ、生活習慣など)	35.9
4	子どもの心身の健康や発達	38.4
5	子育て中の保護者同士の仲間づくり	27.8
6	(妊娠期を含めた) 母親の心身の健康	21.1
7	妊娠期から育児期の父親による子育て	21.1
8	その他	3.9
	無回答	3.5
	N (%ベース)	100

(3) 子育てに関する施設・事業等の認知度等 (P 75～77)

子育てに関する施設・事業等の認知度等についてたずねた結果は、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	知っている (%)	これまでに利用したことがある (%)	今後利用したい (%)
1	児童館 (中央児童センター、川原町児童センター)	66.4	28.9	40.7
2	子ども公民館 (東部子ども公民館、西部子ども公民館)	54.9	12.7	31.3
3	相馬こどものみんなの家	48.1	32.2	38.7
4	相馬愛育園	69.4	30.6	37.3
5	そうま子育てサポートサイトこうま (Kouma)	28.5	12.3	33.8
6	相馬市子育て支援マップ	37.3	16.9	38.7
7	もりっこサポート事業	36.1	3.7	22.7
8	保健センターの親子交流の場や相談事業	45.8	21.8	34.7
9	家庭児童相談室	20.6	0.9	21.1
	無回答	2.8	3.7	4.6
	N (%ベース)	100	100	100

(4) 市が取り組むべきこと (P 78)

相馬市が「安心な子育て環境の整備」を実現するために、市が取り組むべきことについてたずねた結果、下表のとおりである。

No.	カテゴリ	特に重要 (%)	次に重要 (%)
1	待機児童を解消する	16.7	24.1
2	多様な保育を行う	11.3	21.5
3	特色ある保育を行う	6.5	13.9
4	健やかな成長を支援する	7.2	19.0
5	良好な学習環境を確保する	3.9	13.4
6	特色ある教育を行う	4.4	9.7
7	子どもたちの健康を守る	4.6	14.1
8	経済的な負担を減らす	19.4	31.9
9	経済的な支援を行う	13.9	19.2
10	地域内交流の活性化を行う	0.7	4.2
11	情報提供と相談を強化する	1.2	4.2
12	男性の育児参加を進める	2.1	5.3
13	その他	2.1	0.9
	無回答	6.0	18.5
	N (%ベース)	100	100